

大切にしたい

金兆子電鉄



続・銚電新聞

葛飾小学校
6年1組
金森泰都

実際に銚電に乗ってみました



銚子駅から乗りました。2両編成で運転士さんがひとり、車掌さんがひとり乗っていました。ぼくが一番驚いたのは、銚子駅に改札や券売機がなく車内で車掌さんから切符を買うシステムです。車内は乗っている人の顔がわかるほど少ない座席でほとんどの人が座れるくらいの乗客数でした。ぼくたちのような観光客が多かったですが、中には車掌さんと顔なじみの地元の人もいて親しげに話をしていました。地域にも密着した電車なんだなと思いました。

ちなみに

ぼくがよく利用する京成電鉄と比べてみます。京成西船から谷津までが銚電と同じ約6kmで京成の普通列車だと最高速度80%、5分に停車し9分で着きます。銚電の約半分の時間です。景色も全然ちがいます。



銚子電鉄は関東の最東端を走る小さな私鉄です。銚電の愛称で呼ばれています。銚子駅から外川駅までの6.4kmを最高速度40km/hの駅に停車し19分かけて進みます。昔ながらのレトロな車両で市民の足として観光の目玉として活躍しています。

銚電を救った!! ぬれせんべい



銚電は乗客数の減少から赤字が続き廃線の声があがっていました。そこで副業としてぬれせんべいを作。て販売してその利益で赤字を補っています。まさにぬれせんべいが銚電を救っているのです。この取り組みがテレビやインターネットで広まり今では全国から注文を受け支援されています。

<年間収入>

部門	収入(円)	主要項目
鉄道	1億5千万	運賃
食品	4億1千万	ぬれせんべい おかし

副業の食品が鉄道の2.5倍以上!!
 車輦の老朽化などもありまだ
 まだ存続のための費用が足りません

そこでお金を集める方法を考えました

銚電 かんづめ

銚子港はイワシの水あげ日本一!! そのイワシを銚子特産のしょうゆで煮てかんづめに! 鉄道ファンの心をつかむデキ3のラッピングにしました。



観光列車
 金兆子の各所を紹介する観光列車!! まず車内で観音駅名物のたいやきを。犬吠駅では下車して犬吠埼灯台へ。ぬれせんべい焼き体験もできます。



車輦基地のある
 中ノ町駅で
 途中下車しました

デキ3という日本で最も小さい機関車がありました。全長4.4mというミニ機関車で、90年以上前にドイツで作られたそうです。

こんなに珍しくて貴重な車輦が銚電にあるなんてびっくりです。

感想
 銚電に乗ってみてぼくの家のまわりを走る電車にはない温かみを感しました。あまり家のまわりや東京では感じられないような、のびやかな温かみをもった銚電をみんなに知ってもらいたいです。